

条件付き一般競争入札（事後審査方式）の公告

公告日	令和3年6月9日	
工事番号	下第36号	
工種	土木	
工事名	小矢部市特定環境保全公共下水道 下後亟地区管布設その3工事	
施工場所	小矢部市 下後亟 地内	
工事完成期限	令和3年10月 8日	
工事概要	延長 108.50m 管布設延長（開削工法 リブ付硬質塩ビ管 φ150）106.70m 1号マンホール 2箇所 付帯工 一式	
予定価格	9,083,000 円(消費税及び地方消費税相当額を除く)	
低入札調査基準価格	設定有り 当該基準価格を下回る入札が行われた場合は、落札者の決定を保留し、後日、入札参加者に結果を通知する。	
入札参加資格	本店、支店又は 営業者の所在地	・小矢部市内に主たる営業所を有する者 ・準市内業者に認定された者
	等級又は総合評価 価値	・令和3・4年度小矢部市建設工事入札参加資格者名簿の 土木工事において、A等級、B等級又はC等級に登録され ている者
	その他	・小矢部市条件付き一般競争入札実施要領第3条
入札方法	期間入札	
入札書の提出方法	持参又は郵送	
入札書の提出期間	令和3年6月14日 から 令和3年6月21日 まで 持参の場合の受付時間は市役所開庁日の8時30分～17時15分 郵送の場合は、期日内に指定郵便局必着	
入札書の提出先	総務部財政課	
開札日時	令和3年6月23日 9時27分	
開札場所	小矢部市役所 講堂（4階）	
入札保証金	免除	
契約保証金	納付必要（請負代金額が500万円以上の場合）	
積算内訳書	要（入札時に、入札書と同封して提出）	
入札の無効	小矢部市期間入札実施要領第7条による	
設計図書の配布	小矢部市ホームページ「事業者向け」―「入札案内・資格申請」に掲載 する設計図書を、ダウンロードにより取得する。	
設計図書に対する質問期間	令和3年6月16日	
質問に対する回答期限	令和3年6月18日	

工 種	下水道工事(2)	工 事 番 号	下 第 36 号	設計年月日	令和3年5月
工 事 箇 所	小矢部市 下後亟 地内				
令和 3 年度					
小矢部市特定環境保全公共下水道					
下後亟地区管布設その3工事					
小 矢 部 市					
建設リサイクル法対象工事					
請 負 金 額		工 期	令和 3年 6月 日	令和 3年10月 8日	

< 理 由 >

本工事は、汚水管の整備を図り、民生の安定と生活基盤の強化に寄与するものである。

< 概 要 >

○延 長	108.5 m
○管布設延長	106.7 m
開削工法 リブ付硬質塩ビ管 φ150	106.7 m
○1号マンホール	2 箇所
○附 帯 工	1 式

特記仕様書

工事名：小矢部市特定環境保全公共下水道 下後亟地区管布設その3 工事

(一般関係)

第1条 一般

この特記仕様書は、「土木工事共通仕様書(富山県土木部)令和2年10月」第1編共通編1-1-1-2の第6項に基づき、当該工事に必要な事項について定めるものとする。

第2条 現場代理人の工事現場における常駐を要しない期間

- 次のいずれかに該当し、かつ、発注者との連絡体制が確保されると認められた場合には、工事現場における常駐を要しない期間として取り扱うものとする。
 - ① 契約締結後、現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間
 - ② 工事の全部の施工を一時中止している期間
 - ③ 橋梁、ポンプ、ゲート、エレベーター等の工事製作のみが行われる期間
 - ④ 上記に掲げる期間のほか、工事現場において作業等が行われていない期間
- 2 前項の期間を確認する必要がある場合は、書面によることとする。

第3条 工事材料の品質証明資料の提出、段階確認

品質を証明する資料を事前提出し、監督員の段階確認を受けて使用する材料は下記のとおりとする。なお、JISマーク表示品、富山県コンクリート製品協会認定マーク表示品については、マーク表示状態の写真撮影にすることとし、品質証明資料の提出及び段階確認は省略してもよい。

対象材料 リブ付き硬質塩化ビニール管
各種継手類
組立マンホール各種部材
マンホール蓋

第4条 地質

本工事区域の地質柱状図は別添図面のとおりである。現場地質が図面と相違する場合は監督員と協議すること。

第5条 アスファルト混合物

- 1 受注者は、本工事のアスファルト混合物は再生材入りアスファルト混合物を使用するものとする。
- 2 受注者は、上記により難しいときは監督員と協議して再生材の混入しないアスファルト混合物（バージン材）を使用してもよい。

第6条 コンクリート配合

使用目的別の配合緒元は次表のとおりとする。

番号	呼び強度 (N/mm ²)	スランプ (cm)	粗骨材の 最大寸法(mm)	W/C (%)	C (kg/mm ³)	セメントの種類	使用目的
1	18	8	40	60以下		B・B	インバート

第7条 コンクリートの水セメント比

コンクリートの水セメント比は第6条コンクリート配合を遵守すること。指定した呼び強度に対して、セメント比が確保できない場合は、上位規格を用いるものとする。

第8条 リサイクル認定品の利用

本工事で使用する下記の品目については、公共工事における富山県認定リサイクル製品利用方針において先行利用グループに区分されている製品を利用する。

工種	品目(名称)	規格	製品名
組立マンホール	下水道用組立マンホール	内径900	エコユニホール スレンダハイブリッドホール プレホール K-TIKホール

ただし、先行利用グループに区分されている製品の入手が困難な場合は、監督員との協議により、通常製品(新材で製造された製品)やその他グループに設定されているリサイクル製品へ変更できるものとする。

第9条 低入札となった場合における技術者の増員等

1 入札の結果、調査基準価格に満たない価格をもって入札した業者が受注者となった場合における技術者の配置については、次に掲げる場合の区分に応じ、それぞれ次に定めるものとする。

(1) 建設業法の規定により技術者の専任配置が義務付けられる工事の場合

専任配置が義務付けられている技術者とは別に、同法の規定により監理技術者の配置が義務付けられる工事にあつては監理技術者の資格を有する者を、それ以外の工事にあつては主任技術者になり得る資格を有する者を1人、専任にて配置するものとする。この場合において、これらの工事に配置する技術者は、受注者と3ヶ月以上の雇用関係がある者に限る。

(2) 建設業法の規定により技術者の専任配置が義務付けられていない工事の場合

同法の規定により配置が義務付けられている技術者を専任にて配置するものとする。

2 1の(1)により別に配置される技術者は、監理技術者を補助し、監理技術者と同様の職務を行うものとする。

第10条 施工体制の点検を強化する工事

入札の結果、調査基準価格に満たない価格をもって入札した者が受注者となった場合は、受注者は工事施工前に、段階確認及び中間検査において発注者が強化するとする事項を監督員に確認しなければならない。

第11条 低入札となった場合における品質管理の試験頻度

入札の結果、調査基準価格に満たない価格をもって入札した者が受注者となった場合は、富山県土木工事施工管理基準における品質管理基準(一般土木工事品質管理基準)の試験基準欄及び指摘事項欄並びに本特記仕様書の品質管理に関する条項に定める施工に関する試験頻度を2倍とする。

第12条 路盤工(人力施工)

受注者は、路盤の敷均しにあたり、材料の分離に注意し、一層の仕上り厚が15cmを越えないように締固めなければならない。

(工程関係)

第13条 工程関係

- 1 本工事において、地元住民の交通事情、農繁期における農耕車両の影響など必要に応じて、地元などと工事期間や施工方法について調整を行い、その結果を反映させた施工方法、工程等とすること。
- 2 工事着手前に地下埋設物等の支障物件について調査し監督員に報告すること。なお、工事に支障がある場合は施工方法、工程等について別途発注者と受注者で協議する。
- 3 工事施工に際しては、予想される地下埋設物の管理者等と現地立会のうえ、当該物件の位置、深さを確認し、保安対策について十分打合せをし、事故の発生を防止すること。
- 4 本工事のマンホール設置後に、本工事施工期間と重複して、別途発注の管路工事を予定しているため、施工時期等について施工計画書に基づき監督員と協議すること。
- 5 本工事は、別途工事発注の管路工事のマンホール設置後より施工を予定しているため、施工時期等について施工計画書に基づき監督員と協議すること。

(公害対策関係)

第14条 公害対策

工事施工に伴い既設構造物に影響を及ぼす恐れがある場合は監督員と協議し、関係者立会いのうえ、事前調査を行い、着工前の状況を写真等で記録すること。

(安全対策関係)

第15条 安全対策

- 1 工事の施工にあたっては交通誘導警備員を2名配置し、一般交通等に支障を及ぼさないよう十分注意して施工するものとする。なお、警察等関係機関との協議により交通処理方法等の変更が生じた場合は、別途協議により変更する。
- 2 本工事における県道及び国道部分について、路盤のまま交通解放は行わず、舗装復旧工を施工のうえ、交通解放を行うこと。

第16条 工事現場における表示施設（工事看板）

平成24年6月6日付けの「工事現場における標示施設等の設置基準(案)」の運用について（上下水道課長通知）に基づくこと。

第17条 道路使用許可申請、通行制限許可申請

- 1 道路交通法第77条に基づく道路使用許可申請および道路法第46条に基づく小矢部市管理道路の通行制限許可申請については受注者が申請すること。
- 2 道路法第46条に基づく富山県管理道路の通行制限許可申請については、発注者より申請するため、道路使用許可書および道路使用許可申請書添付書類と同様なものを6部提出すること。

(工事用道路関係)

第18条 工事用道路関係

運搬路に使用した、既設道路の舗装等の補修が必要となった場合は監督員と協議し、補修しなければならない。

(仮設備関係)

第19条 管路土留工

本工事では掘削深1.5m以上となる区間において、任意仮設として土留工を設置することとしている。したがって、計上している工法と異なった施工をしても、引取対象物が変わらなければ設計変更の対象とはしないが、掘削深が変更になる等、施工条件が変更にな

った場合は監督員と協議のうえ変更できるものとする。

工法：軽量鋼矢板工法

使用土留：H=4.0m

工法：軽量鋼矢板工法

使用土留：H=3.5m

(建設発生土・建設副産物関係)

第22条 建設発生土

建設発生土については、一部埋戻しに流用するものとし、その他は片道運搬距離4.5kmの小矢部市名畑地内の公共残土仮置場へ搬出するものとする。なお、受注者の明示する施設と異なる場合においても設計変更の対象としない。ただし、施設の受入れが困難な場合等、受注者の責によるものでない事項についてはこの限りではない。

第23条 建設副産物

- 1 本工事は建設工事に係る資源の再資源化等に関する法律（以下、建設リサイクル法という）の対象建設工事であり、特定建設資材について分別解体等及び再資源化等を実施するものとする。
- 2 受注者は、建設リサイクル法12条に基づき、施工計画書に以下の内容を明記し、監督員へ説明するものとする。
 - ・解体工事である場合は、解体する建築物等の構造
 - ・新築工事等である場合は、使用する特定資材の種類
 - ・工事着手時期及び工程の概要
 - ・分別解体の概要
 - ・解体工事である場合は、解体する建築物等に建設資材の量の見込み
- 3 本工事における特定資材の再資源化等については、以下の積算条件を設定しているが、工事請負契約書に定める事項は契約締結時に発注者と請負者の間で確認されるものであるため、発注者が積算上条件明示した以下の事項と別の方法であった場合でも変更の対象としない。

ただし、工事発注後に明らかになった事情により、予定した条件により難しい場合は、監督員と協議するものとする。

1) 分別解体等の方法

工程ごとの作業内容及び解体方法	工程	作業内容	分別解体の方法 (解体工事のみ)
	① 仮設	仮設工事 ■有 □無	□手作業 ■手作業・機械作業の併用
	② 土工	土工 ■有 □無	□手作業 ■手作業・機械作業の併用
	③ 基礎	基礎工事 □有 □無	□手作業 □手作業・機械作業の併用
	④ 本体構造	本体構造の工事 □有 □無	□手作業 □手作業・機械作業の併用
	⑤ 本体付属品	本体付属品の工事 □有 □無	□手作業 □手作業・機械作業の併用
	⑥ その他	その他の工事 ■有 □無	□手作業 ■手作業・機械作業の併用

2) 再資源化等をする特定建設資材廃棄物の種類及び処理量

特定建設資材廃棄物の種類	処理量
コンクリート塊	-
アスファルト塊	12m ³
建設発生木材	-

コンクリート塊は、径 30cm 程度に破砕するものとする。

4 受注者は、特定建設資材の分別解体・再資源化等が完了したときは、建設リサイクル法 18 条に基づき、以下の事項を書面にて記載し、監督員に報告する。なお、書面は「建設リサイクルガイドライン（富山県土木部）」（平成 14 年 6 月）に定めた様式 1、〔再生資源利用計画書（実施書）〕及び様式 2〔再生資源利用促進計画書（実施書）〕を兼ねるものとする。

- ・再資源化が完了した年月日
- ・再資源化をした施設の名称及び所在地
- ・再資源化に要した費用

5 受注者は、再資源化施設において適正に処分されていることが確認できる書類（マニフェスト等）を保管しておくこと。監督員からの請求があれば速やかにその写しを提示するものとする。運搬、処理を委託する場合は、産業廃棄物処理業者との委託契約書を監督員に提示するものとする。

第 24 条 再生材の利用

下表の基礎砕石には再生砕石を使用するものとする。品質については、下表の資材は、「コンクリート副産物の再生利用に関する用途品質基準」に基づくものとする。なお、再生砕石の入手が困難な場合は、監督員と協議のうえ砕石（新材）に変更できるものとする。

工 種	品 種	使用箇所
管布設工	RC-40	管路基礎
舗装工	RC-40	下層路盤

第 26 条 舗装切断作業時に発生する排水の処理

舗装切断作業に伴い、切断機械から発生する排水については、排水吸引機能を有する切断機械等により回収し、適正に処理すること。当該排水の処理に関し、排水量に変更が生じた場合、受注者は排水量等を取りまとめの上、監督員と協議を行い契約変更の対象とする。

(その他)

第 29 条 工事写真の撮影

受注者は土木工事共通仕様書（富山県土木部）記載の富山県土木工事写真撮影要領および下水道土木工事必携（案）（日本下水道協会）により工事の施工状況が判明する写真を撮影すること。

第 31 条 提出書類

本工事区間の県道・国道の道路管理者の指示により、これらの道路に関する以下の書類提出を求められていることから、完成図書と同時にとりまとめを行い、提出すること。

- ・路体、路床、下層路盤、上層路盤の転圧状況（1 層毎）の写真
- ・下層路盤、上層路盤、基層、表層の厚さおよび使用材料を確認できる写真
- ・路体、路床、下層路盤、上層路盤、基層、表層の密度試験結果

第 32 条 その他

その他、定めがない事項について疑義が生じた場合は、その都度監督員と協議するものとする。

総括情報表

事務所 設計書名 変更回数 適用単価 適用単価地区 単価適用年月日 諸経費体系	0002 上下水道課 実施設計書 当初 0 1 実施単価 07 砺波地区 0-03.05.15(0) 1 公共		
前払率 諸経費工種 労務費補正 電力区分 施工地域区分 寒冷地区分 緊急工事区分 契約保証区分 現場環境改善費 週休2日工事補正 消費税率 (%)	当 世 代 40 18 下水道 (2) 01 割増なし 02 臨時低圧電力 12 補正無し 01 補正なし 00 通常 01 金銭的保証 00 計上しない 00 計上しない 10	前 世 代	

本工事費内訳表

本工事費	費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
						X1000
	管路					Y1A01
	管きょ工(開削)<管径150mm>					Y2A0101
	管路土工					Y3A010101
	管路掘削					Y4A01010101
	バックホウ床掘 土砂 施工方法 平均施工幅1m以上2m未満		式			SP2010 0 A=1, B=2, C=1, D=1
		100	m3			施工 第0-0001号表
	機械掘削 (バックホウ) バックホウ クレーン1次排対					S6801 0 A=4, B=1
		214	m3			施工 第0-0002号表
	管路埋戻					Y4A01010102
			式			
	機械投入埋戻工 (流用土路体) 流用土					S6807 0 A=4, B=4
		214	m3			施工 第0-0003号表

本工事費内訳表

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
発生土処理									Y4A01010103	
				式						
土砂等運搬 標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む)									SP2002 0 A=1, B=3, C=1, D=1, I=6	
	70			m ³					施工 第0-0005号表	
処分費等									#0044 A=1, B=1, C=4	
公共用残土仮置場(搬入)名畑									TST18 0	
	70			m ³						
管布設工									Y3A010102	
リブ付硬質塩化ビニル管									Y4A01010216	
				式						
リブ付硬質塩化ビニル管設置工 市場単価方式 呼び径 150mm									S6992 0 A=1, B=1, C=1, D=1	
	107			m					施工 第0-0006号表	
継手類									Y4A01010211	
				式						
リブ管用マンホール用可とう継手 φ150 PRP φ150 拡張バンドタイプ									T94140 0	
	4			個						

本工事費内訳表

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
管基礎工									Y3A010103	
碎石基礎									Y4A01010302	
碎石基礎工 市場単価方式 機械施工				式					S6994 0 A=2, B=1, C=1, D=1	
	34		m ³						施工 第0-0007号表	
再生碎石 RC-40									T4090 0	
	41		m ³							
管路土留工									Y3A010105	
軽量鋼矢板土留(H=3.0m)									Y4A01010503	
				式						
軽量鋼矢板建込工 H=3.0m									S6970 0 A=4, B=3	
	6		m						施工 第0-0008号表	
軽量鋼矢板引抜工 H=3.0m									S6971 0 A=4, B=1	
	6		m						施工 第0-0009号表	
土留支保工(軽量金属支保工)設置 切梁材 水圧式パイプサポート 2段 3.5m以下									S6972 0 A=1, B=1, C=2	
	6		m						施工 第0-0010号表	

小 矢 部

本工事費内訳表

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
土留支保工（軽量金属支保工）撤去 切梁材 水圧式パイプサポート 2段 3.5m以下	6		m						S6972 0 A=2, B=1, C=2	施工 第0-0011号表
軽量鋼矢板等賃料 矢板・腹起し・切ばり・水圧ポンプ	1		式						W0001	
軽量鋼矢板土留(H=3.5m)				式					Y4A01010503	
軽量鋼矢板建込工 H=3.5m	103		m						S6970 0 A=5, B=3	施工 第0-0012号表
軽量鋼矢板引抜工 H=3.5m	103		m						S6971 0 A=5, B=1	施工 第0-0013号表
土留支保工（軽量金属支保工）設置 切梁材 水圧式パイプサポート 2段 3.5m以下	103		m						S6972 0 A=1, B=1, C=2	施工 第0-0010号表
土留支保工（軽量金属支保工）撤去 切梁材 水圧式パイプサポート 2段 3.5m以下	103		m						S6972 0 A=2, B=1, C=2	施工 第0-0011号表
軽量鋼矢板等賃料 矢板・腹起し・切ばり・水圧ポンプ	1		式						W0001	
マンホール工									Y2A0105	

小 矢 部

本工事費内訳表

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
組立マンホール工									Y3A010502	
組立1号マンホール									Y4A01050202	
組立マンホール設置工 1号(内径900mm) マンホール深さ3m超～4m以下	2			箇所					S6985 0 A=2, B=5, C=2, D=1, E=1 施工 第0-0014号表	
マンホール設置工(底部工) マンホール設置済 インバートのみ	1			箇所					S6871 0 A=0, C=0.173, D=1, E=0.713, F=0.02, G=2, H=1 施工 第0-0015号表	
マンホール設置工(底部工) マンホール設置後 インバートなし	2			箇所					S6871 0 A=1.4, B=2, C=0.0, E=0.0 施工 第0-0019号表	
1号マンホール現場削孔費 PRP φ150 PRP φ150	1			箇所					TG3003 0	
1号 マンホール底版 H=130 外径1100mm H=130mm	2			個					T9351 0	
1号 マンホールく体ブロック H=1500 内径 900mm H=1500mm	2			個					T9357 0	
1号 マンホール直壁 H=1200 内径 900mm H=1200mm	2			個					T9373 0	

本工事費内訳表

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
1号 マンホール斜壁 H=300 内径600-900mm H=300mm									T9396	0
	2			個						
組立式マンホール調整リング 内径600 H=50 内径 600mm H= 50mm									T9405	0
	1			個						
組立式マンホール調整リング 内径600 H=100 内径 600mm H=100mm									T9406	0
	1			個						
組立式マンホール調整金具 25mmまで 調整高 25mmまで									T9410	0
	1			組						
組立式マンホール調整金具 45mmまで 調整高 45mmまで									T9411	0
	1			組						
マンホール蓋 歩道用T-14 φ 600 歩道用T-14									T14210	0
	2			組						
1号マンホール削孔費 PRP φ 150 PRP φ 150									TG3000	0
	2			箇所						
付帯工									Y2A0109	
舗装撤去工									Y3A010901	

本工事費内訳表

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
舗装版切断									Y4A01090101	
				式						
舗装版切断 アスファルト舗装版 アスファルト舗装版									SP4028 0 A=1, B=1, E=1	
	217		m						施工 第0-0020号表	
舗装版破碎									Y4A01090102	
				式						
舗装版直接掘削・積込工 アスファルト舗装 アスファルト舗装版 障害等 無し									SP4027 0 A=1, B=1, C=1, D=4, F=1	
	358		m ²						施工 第0-0021号表	
殻運搬処理									Y4A01090104	
				式						
殻運搬 舗装版破碎 機械積込(騒音対策不要、舗装版厚15cm以下)									SP2081 0 A=2, B=4, C=1, J=4	
	12		m ³						施工 第0-0022号表	
As舗装切断排水運搬費 2tダンプトラック運搬									S5099 0 A=1, B=0.03, C=217, E=23, F=1, G=1	
	1		式						施工 第0-0023号表	
処分費等									#0044 A=1, B=1, C=4	
アスファルト廃材処理費									TAK96 0	
	12		m ³							

本工事費内訳表

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
As舗装切断排水					TAC09 0
	0.2	t			
舗装仮復旧工(歩道)					Y3A010906
不陸整正					Y4A01090301
		式			
不陸整正 補足材料 無し					SP4001 0 A=1
	227	m2			施工 第0-0024号表
上層路盤					Y4A01090603
		式			
路盤工(人力施工) 路盤厚10cm 歩道					S4015 0 A=3, B=10, C=5
	92	m2			施工 第0-0025号表
表層					Y4A01090605
		式			
表層(歩道部) 1層当たり平均仕上り厚30mm					SP4009 0 A=3, B=30, C=1, D=2, F=1
	319	m2			施工 第0-0026号表
舗装復旧工(乗入れ)					Y3A010903

本工事費内訳表

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
不陸修正									Y4A01090301	
				式						
不陸修正 補足材料 無し									SP4001 0 A=1	
	28		m2						施工 第0-0024号表	
下層路盤									Y4A01090303	
				式						
路盤工 (人力施工) 路盤厚10cm 車道									S4015 0 A=2, B=10, C=4	
	11		m2						施工 第0-0027号表	
上層路盤									Y4A01090303	
				式						
路盤工 (人力施工) 路盤厚10cm 車道									S4015 0 A=2, B=10, C=5	
	11		m2						施工 第0-0028号表	
表層									Y4A01090305	
				式						
表層 (車道・路肩部) 1層当り平均仕上り厚50mm									SP4007 0 A=4, B=50, C=1, D=2, E=5, G=1	
	39		m2						施工 第0-0029号表	
仮設工									Y2A0111	

本工事費内訳表

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
交通管理工									Y36011325	
交通誘導警備員									Y4601132501	
交通誘導警備員									S7192 0 A=0, B=2, C=14	
	1								施工 第0-0030号表	
直接工事費										
共通仮設費 (率分)										
共通仮設費計										
純工事費										
現場管理費										
現場管理費計										

本工事費内訳表

	費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
工事原価						
一般管理費等						
工事価格			式			
消費税等相当額			式			
請負対象工事費						
工事価格計						
消費税等相当額計			式			
請負対象工事費計						

施工内訳表

SP2010

施工 第0-0001号表

[名称] バックホウ床掘		[規格1] 土砂		[規格2] 施工方法 平均施工幅1m以上2m未満		1	m3	当り
機械構成比: 31.93%		労務構成比: 55.08%		材料構成比: 12.99%		市場単価構成比: 0.00%		標準単価: 288.25
代表機	労材規格	構成比	単価	代表機	労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考	
バックホウ		31.93%		バックホウ			MH108	
特殊運転手		55.08%		運転手(特殊) 東京単価			R2002	
軽油 (パトロール)		12.99%		軽油 東京単価 1.2号 パトロール給油			T3002	
積算単価				積算単価			EP001	
A=1 土砂				B=2 平均施工幅1m以上2m未満				
C=1 土留方式 無し				D=1 障害 無し				

施工内訳表

[名称] 機械掘削 (バックホウ)		[規格1] バックホウ		[規格2]		1	m3	当り
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考			
土木一般世話役 一般施工		人			R2008			
普通作業員		人			R2006 補助的作業(床均し等)			
バックホウ運転 (クレーン機能付) (機-1) 1次基準排対		時間			S1320			
諸雑費	1	式			#90			
1m3当り		m3			+00			
単位当り	1	m3						
A=4 バックホウ			B=1	岩石補正なし				

施工内訳表

[名称] 機械投入埋戻工 (流用土路体)		[規格1] 流用土		[規格2]		100	m3	当り
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考			
土木一般世話役 一般施工		人			R2008			
普通作業員		人			R2006 バックホウ投入補助+タンパ締固補助			
バックホウ運転 (クレーン機能付) (機-1) 1次基準排対		時間			S1320			
タンパ締固め	100.00	m3			SP2015	施工 第0-0004号表		
諸雑費	1	式			#90			
合計	100	m3						
単位当り	1	m3						
A=4 バックホウ			B=4 発生土					

施工内訳表

SP2015

施工 第0-0004号表

[名 称] タンパ締固め		[規格 1]		[規格 2]		1	m3	当り
機械構成比: 1.39%		労務構成比: 97.22%		材料構成比: 1.39%		市場単価構成比: 0.00%		標準単価: 1,398
代表機材規格	構成比	単 価	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考			
タンパ賃料	1.39%		タンパ及びランマ 東京単価 質量60~80kg		T7285			
特殊作業員	51.95%		特殊作業員 東京単価		R2005			
普通作業員	45.27%		普通作業員 東京単価		R2006			
ガソリン JIS2号レギュラ	1.39%		ガソリン 東京単価 レギュラー スタンド		T3004			
積算単価			積算単価		EP001			

施工内訳表

SP2002

施工 第0-0005号表

[名称] 土砂等運搬		[規格2] 土砂(岩塊・玉石混り土含む)		1	m3	当り
[規格1] 標準		市場単価構成比: 0.00%		標準単価:		1,115.3
機械構成比: 47.71%	労務構成比: 37.09%	材料構成比: 15.20%				
代表機材規格	構成比	単価	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考	
ダンプトラック	47.71%		ダンプトラック		M1450	
一般運転手	37.09%		運転手(一般) 東京単価		R2015	
軽油 (パトロール)	15.20%		軽油 東京単価 1.2号 パトロール給油		T3002	
積算単価			積算単価		EP001	
A=1 標準			B=3	バックホ山積0.45m3(平積0.35m3)		
C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む)			D=1	DID区間 無し		
I=6 4.5km以下						

施工内訳表

[名称] リブ付硬質塩化ビニル管設置工				1	m	当り
[規格1] 市場単価方式				[規格2] 呼び径 150mm		
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備	考
リブ付硬質塩化ビニル管設置工 呼び径 150mm	1.00	m			TH870	
単位当り	1	m				
A=1 呼び径 150mm C=1 時間的制約無			B=1 20m以上 D=1 標準(昼間)			

施工内訳表

[名称] 碎石基礎工 [規格1] 市場単価方式		[規格2] 機械施工				1	m3	当り
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考			
碎石基礎設置 機械施工	1.00	m3			TH878			
単位当り	1	m3						
A=2 機械施工 C=1 時間的制約無			B=1 10m3以上 D=1 標準(昼間)					

施工内訳表

[名称] 軽量鋼矢板建込工 [規格1] H=3.0m		[規格2]				100	m	当り
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考			
土木一般世話役 一般施工		人			R2008			
特殊作業員		人			R2005			
普通作業員		人			R2006			
バックホウ運転 (機-1) 2次基準排対		時間			S1320			
諸雑費	1	式			#90			
合計	100	m						
単位当り	1	m						
A=4 3.0m以下			B=3	バックホウ				

施工内訳表

[名称] 軽量鋼矢板引抜工				100	m	当り
[規格1] H=3.0m		[規格2]				
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備	考
土木一般世話役 一般施工		人			R2008	
特殊作業員		人			R2005	
普通作業員		人			R2006	
トラッククレーン賃料		日			S5326	
諸雑費	1	式			#90	
合計	100	m				
単位当り	1	m				
A=4 C=0	3.0m以下 トラッククレーン賃料補正係数		B=1	トラッククレーン		

施工内訳表

[名称] 土留支保工 (軽量金属支保工) 設置				100	m	当り
[規格1] 切梁材 水圧式パイプサポート				[規格2] 2段 3.5m以下		
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備	考
土木一般世話役 一般施工		人			R2008	
特殊作業員		人			R2005	
普通作業員		人			R2006	
諸雑費	1	式			#90	
合計	100	m				
単位当り	1	m				
A=1 設置 C=2 2段 3.5m以下			B=1 切梁材	水圧式パイプサポート		

施工内訳表

[名称] 土留支保工 (軽量金属支保工) 撤去				100	m	当り
[規格1] 切梁材 水圧式パイプサポート				[規格2] 2段 3.5m以下		
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備	考
土木一般世話役 一般施工		人			R2008	
特殊作業員		人			R2005	
普通作業員		人			R2006	
合計	100	m				
単位当り	1	m				
A=2 撤去 C=2 2段 3.5m以下			B=1 切梁材	水圧式パイプサポート		

施工内訳表

[名称] 軽量鋼矢板建込工 [規格1] H=3.5m		[規格2]				100	m	当り
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備	考		
土木一般世話役 一般施工		人			R2008			
特殊作業員		人			R2005			
普通作業員		人			R2006			
バックホウ運転 (機-1) 2次基準排対		時間			S1320			
諸雑費	1	式			#90			
合計	100	m						
単位当り	1	m						
A=5 3.5m以下			B=3	バックホウ				

施工内訳表

[名称] 軽量鋼矢板引抜工 [規格1] H=3.5m		[規格2]				100	m	当り
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考			
土木一般世話役 一般施工		人			R2008			
特殊作業員		人			R2005			
普通作業員		人			R2006			
トラッククレーン賃料		日			S5326			
諸雑費	1	式			#90			
合計	100	m						
単位当り	1	m						
A=5 3.5m以下 C=0 トラッククレーン賃料補正係数			B=1	トラッククレーン				

施工内訳表

[名称] マンホール設置工 (底部工)		[規格1] マンホール設置済 インバートのみ		[規格2]		1	箇所	当り
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備	考		
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 人力打設	0.17	m3			SP2082	施工 第0-0016号表		
モルタル上塗工	0.71	m2			S6841	施工 第0-0017号表		
単位当り	1	箇所						
A=0 砕石基礎数量 (m3/箇所)			C=0.173		インバートコンクリート数量 (m3/箇所)			
D=1 一般養生			E=0.713		モルタル上塗数量 (m2/箇所)			
F=0.02 モルタル量 (m3/m2)			G=2		普通			
H=1 生コン小型車割増なし								

施工内訳表

SP2082

施工 第0-0016号表

[名称] コンクリート		[規格1] 無筋・鉄筋構造物		[規格2] 人力打設		1	m3	当り
機械構成比: 0.00%		労務構成比: 31.87%		材料構成比: 68.13%		市場単価構成比: 0.00%		標準単価: 22,622
代表機労材規格			構成比	単価	代表機労材規格(東京地区)		単価(東京地区)	備考
普通作業員			15.01%		普通作業員 東京単価			R2006
特殊作業員			8.45%		特殊作業員 東京単価			R2005
土木一般世話役 一般施工			6.19%		土木一般世話役 東京単価			R2008
その他(労務)					その他(労務)			ER009
生コンクリート 18- 8-40 W/C≤65%			68.13%		生コンクリート 東京単価 高炉 24-12-25(20) W/C 55%			T4014
積算単価					積算単価			EP001
A=1	無筋・鉄筋構造物				B=4	人力打設		
C=23	18- 8-40 W/C≤65%				E=2	一般養生		
G=2	現場内小運搬 無し				L=1	生コン小型車割増なし		

施工内訳表

[名称] モルタル上塗り [規格1]		[規格2]				1	m2	当り
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備	考		
モルタル練 混合比 1 : 2	0.02	m3			SP2083	施工 第0-0018号表		
左官		人			R2038			
普通作業員		人			R2006			
諸雑費	1	式			#90			
単位当り	1	m2						
A=0.02 モルタル量 (m3/m2) C=1 普通			B=2 1 : 2					

施工内訳表

SP2083

施工 第0-0018号表

[名称] モルタル練		[規格1] 混合比 1 : 2		[規格2]		1	m3	当り
機械構成比: 0.00%		労務構成比: 61.62%		材料構成比: 38.38%		市場単価構成比: 0.00%		標準単価: 44,520
代表機労材規格	構成比	単価	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考			
普通作業員	61.62%		普通作業員 東京単価		R2006			
セメント(普通ポルトランド) 袋物 JISR-5210	28.46%		セメント 東京単価 高炉B 25kg袋入		T3265			
砂 (細目・荒目)	9.92%		砂 東京単価 細目(洗い)		T4041			
積算単価			積算単価		EP001			
A=1 普通			B=2 1 : 2					

施工内訳表

SP4028

施工 第0-0020号表

[名称] 舗装版切断 アスファルト舗装版		[規格1] アスファルト舗装版		[規格2]		1	m	当り
機械構成比: 6.29%		労務構成比: 54.24%		材料構成比: 39.47%		市場単価構成比: 0.00%		標準単価: 558.1
代表機	材規格	構成比	単価	代表機	材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考	
コンクリートカッタ		4.25%		コンクリートカッタ			M2002	
その他(機械)				その他(機械)			EK009	
特殊作業員		18.90%		特殊作業員 東京単価			R2005	
土木一般世話役 一般施工		9.56%		土木一般世話役 東京単価			R2008	
普通作業員		8.20%		普通作業員 東京単価			R2006	
その他(労務)				その他(労務)			ER009	
ダイヤモンドブレード 径56cm		36.63%		コンクリートカッタ (ブレード) 東京単価 径22インチ			T3663	
ガソリン JIS2号レギュラ		1.92%		ガソリン 東京単価 レギュラー スタンド			T3004	
その他(材料)				その他(材料)			EZ009	
積算単価				積算単価			EP001	
A=1 E=1	アスファルト舗装版 全ての費用			B=1 15cm以下				

施工内訳表

SP4027

施工 第0-0021号表

[名称] 舗装版直接掘削・積込工 アスファルト舗装		[規格1] アスファルト舗装版		[規格2] 障害等 無し		1	m2	当り
機械構成比: 9.77%		労務構成比: 81.96%		材料構成比: 8.27%		市場単価構成比: 0.00%		標準単価: 166.23
代表機	労材規格	構成比	単価	代表機	労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考	
	バックホウ賃料	9.77%			バックホウ(クローラ型) 東京単価 山積0.45m ³ (平積0.35m ³)		T7275	
	土木一般世話役 一般施工	29.03%			土木一般世話役 東京単価		R2008	
	特殊運転手	28.06%			運転手(特殊) 東京単価		R2002	
	普通作業員	24.87%			普通作業員 東京単価		R2006	
	軽油 (パトロール)	8.27%			軽油 東京単価 1.2号 パトロール給油		T3002	
	積算単価				積算単価		EP001	
A=1	アスファルト舗装版			B=1	障害等 無し			
C=1	騒音振動対策 不要			D=4	15cm以下			
F=1	積込作業 有り							

施工内訳表

SP2081

施工 第0-0022号表

[名称] 殻運搬		[規格1] 舗装版破碎		[規格2] 機械積込(騒音対策不要、舗装版厚15cm以下)		1	m3	当り
機械構成比: 47.71%		労務構成比: 37.09%		材料構成比: 15.20%		市場単価構成比: 0.00%		標準単価: 2,623.5
代表機	労材規格	構成比	単価	代表機	労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考	
ダンプトラック		47.71%		ダンプトラック			M1450	
一般運転手		37.09%		運転手(一般) 東京単価			R2015	
軽油 (パトロール)		15.20%		軽油 東京単価 1.2号 パトロール給油			T3002	
積算単価				積算単価			EP001	
A=2 C=1	舗装版破碎 DID区間 無し			B=4 J=4	機械積込(騒音対策不要、舗装版厚15cm以下) 6.5km以下			

施工内訳表

SP4001

施工 第0-0024号表

[名称] 不陸整正		[規格1] 補足材料 無し		[規格2]		1	m2	当り
機械構成比: 25.93%		労務構成比: 67.07%		材料構成比: 7.00%		市場単価構成比: 0.00%		標準単価: 111.35
代表機材規格	構成比	単価	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考			
モータグレーダ	12.79%		モータグレーダ		MHH601			
マカダムローラ	9.91%		マカダムローラ		MHH705			
タイヤローラ賃料	3.23%		タイヤローラ 東京単価 質量8~20t		T7390			
特殊運転手	42.37%		運転手(特殊) 東京単価		R2002			
特殊作業員	13.03%		特殊作業員 東京単価		R2005			
普通作業員	9.47%		普通作業員 東京単価		R2006			
土木一般世話役 一般施工	2.20%		土木一般世話役 東京単価		R2008			
軽油 (パトロール)	7.00%		軽油 東京単価 1.2号 パトロール給油		T3002			
積算単価			積算単価		EP001			
A=1 補足材料 無し								

施工内訳表

[名称] 路盤工 (人力施工)				100	m2	当り
[規格1] 路盤厚10cm		[規格2] 歩道				
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備	考
普通作業員		人			R2006	
再生砕石 RC-40	12.70	m3			T4090	
タンパ運転 (機-23)		日			S1235	
諸雑費	1	式			#90	
合計	100	m2				
単位当り	1	m2				
A=3 歩道 C=5 再生砕石 RC-40			B=10 仕上り厚 (cm)			

施工内訳表

SP4009

施工 第0-0026号表

[名称] 表層(歩道部)		[規格1] 1層当り平均仕上り厚30mm		[規格2]		1	m2	当り
機械構成比: 2.96%		労務構成比: 22.56%		材料構成比: 74.48%		市場単価構成比: 0.00%		標準単価: 1,319
代表機材規格	構成比	単価	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考			
アスファルトフィニッシャ	2.23%		アスファルトフィニッシャ		M1403			
振動ローラ賃料	0.42%		振動ローラ(舗装用) 東京単価 [搭乗・コンバインド式] 質量3~4t		T7284			
その他(機械)			その他(機械)		EK009			
普通作業員	8.51%		普通作業員 東京単価		R2006			
特殊作業員	5.85%		特殊作業員 東京単価		R2005			
特殊運転手	3.82%		運転手(特殊) 東京単価		R2002			
土木一般世話役 一般施工	1.97%		土木一般世話役 東京単価		R2008			
その他(労務)			その他(労務)		ER009			
アスファルト合材 再生材入り 密粒度 AC 13	65.37%		再生アスファルト混合物 東京単価 再生密粒度AS混合物(13) 平均仕上がり厚 40mm		T3921			
アスファルト乳剤 PK-3	8.74%		アスファルト乳剤 東京単価 PK-3 プライムコート用		T3019			
軽油 (パトロール)	0.33%		軽油 東京単価 1.2号 パトロール給油		T3002			

施工内訳表

SP4009

施工 第0-0026号表

[名称] 表層 (歩道部)			[規格2]		
[規格1] 1層当り平均仕上り厚30mm			標準単価 : 1,319		
機械構成比 : 2.96%		労務構成比 : 22.56%	材料構成比 : 74.48%		市場単価構成比 : 0.00%
代表機労材規格	構成比	単価	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		EP001
A=3 C=1 F=1	1.4m以上 密粒度 AC 13 全ての費用		B=30 D=2	1層当り平均仕上り厚 (mm) プライムコート PK-3	

施工内訳表

[名称] 路盤工 (人力施工)				100	m2	当り
[規格1] 路盤厚10cm		[規格2] 車道				
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備	考
普通作業員		人			R2006	
粒調碎石 M40	12.70	m3			T4051	
タンパ運転 (機-23)		日			S1235	
諸雑費	1	式			#90	
合計	100	m2				
単位当り	1	m2				
A=2 車道 C=4 粒調碎石 M-40			B=10 仕上り厚 (cm)			

施工内訳表

[名称] 路盤工 (人力施工)				100	m2	当り
[規格1] 路盤厚10cm		[規格2] 車道				
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備	考
普通作業員		人			R2006	
再生砕石 RC-40	12.70	m3			T4090	
タンパ運転 (機-23)		日			S1235	
諸雑費	1	式			#90	
合計	100	m2				
単位当り	1	m2				
A=2 車道 C=5 再生砕石 RC-40			B=10 仕上り厚 (cm)			

施工内訳表

SP4007

施工 第0-0029号表

[名称] 表層(車道・路肩部)		[規格1] 1層当り平均仕上り厚50mm		[規格2]		1	m2	当り
機械構成比: 1.55%		労務構成比: 9.66%		材料構成比: 88.79%		市場単価構成比: 0.00%		標準単価: 1,556.8
代表機	労材規格	構成比	単価	代表機	労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考	
アスファルトフィニッシャ	[ホイール型] 舗装幅2.3~6.0m	1.00%		アスファルトフィニッシャ	[ホイール型] 舗装幅2.3~6.0m		T7249	
ロードローラ	質量10~12t	0.16%		ロードローラ	[マカダム] 質量10t		T7300	
タイヤローラ賃料		0.16%		タイヤローラ	質量8~20t		T7390	
その他(機械)				その他(機械)			EK009	
普通作業員		3.53%		普通作業員	東京単価		R2006	
特殊作業員		2.02%		特殊作業員	東京単価		R2005	
特殊運転手		1.97%		運転手(特殊)	東京単価		R2002	
土木一般世話役	一般施工	0.67%		土木一般世話役	東京単価		R2008	
その他(労務)				その他(労務)			ER009	
アスファルト合材 再生材入り	密粒度 AC 20FA	80.83%		アスファルト混合物	東京単価 密粒度 AS 混合物(20)		T3926	
アスファルト乳剤	PK-3	7.40%		アスファルト乳剤	東京単価 PK-3 プライムコート用		T3019	

施工内訳表

SP4007

施工 第0-0029号表

[名称] 表層(車道・路肩部)		[規格1] 1層当り平均仕上り厚50mm		[規格2]		1	m2	当り
機械構成比: 1.55%		労務構成比: 9.66%		材料構成比: 88.79%		市場単価構成比: 0.00%		標準単価: 1,556.8
代表機労材規格			構成比	単価	代表機労材規格(東京地区)		単価(東京地区)	備考
軽油 (パトロール)			0.48%		軽油 東京単価 1.2号 パトロール給油			T3002
その他(材料)					その他(材料)			EZ009
積算単価					積算単価			EP001
A=4	3.0m超				B=50	1層当り平均仕上り厚 (mm)		
C=1	密粒度アスファルト混合物				D=2	プライムコート PK-3		
E=5	密粒度 AC 20FA				G=1	全ての費用		

機 労 材 集 計 表

項番	単価 コード	集計 区分	単 価 値	数量累計	単 価 名 称	集 計 区 分 名 称
1	K2541	198			タイヤ損耗費及び修理費	消耗品費
2	M1021	191			ダンプトラック	運搬機械等損料
3	M1232	193			ランマ	路盤舗装等損料
4	MH140	190			バックホウ	掘削積込機損料
5	MHH107	190			バックホウ	掘削積込機損料
6	R2002	18			特殊運転手	特殊運転手
7	R2005	11			特殊作業員	特殊作業員
8	R2006	12			普通作業員	普通作業員
9	R2008	25			土木一般世話役	一般土木世話役
10	R2015	19			一般運転手	一般運転手
11	R2038	31			左官	左官工
12	R2053	37			交通誘導警備員B	その他労務
13	T3002	66			軽油	軽油
14	T3004	65			ガソリン	ガソリン
15	T4051	53		1.397	粒調碎石	粒度調整碎石
16	T4090	52		57.441	再生碎石	クラッシュラン
17	T7041	44			トラッククレーン賃料	建設機械賃料
18	T9351	186		2	1号 マンホール底版	マンホール
19	T9357	186		2	1号 マンホールく体ブロック	マンホール
20	T9373	186		2	1号 マンホール直壁	マンホール
21	T9396	186		2	1号 マンホール斜壁	マンホール
22	T9405	186		1	組立式マンホール調整リング	マンホール
23	T9406	186		1	組立式マンホール調整リング	マンホール
24	T9410	186		1	組立式マンホール調整金具	マンホール
25	T9411	186		1	組立式マンホール調整金具	マンホール
26	TAC09	189		0.2	As舗装切断排水	投棄料
27	TAK96	189		12	アスファルト廃材処理費	投棄料
28	TH275	999		2	組立マンホール設置工 1号	その他
29	TH870	200		107	リブ付硬質塩化ビニル管設置工	
30	TH878	200		34	碎石基礎設置	
31	TST18	189		70	公共用残土仮置場（搬入）	投棄料
32	WXXXX	966				
33	WXXXX	968				

参考様式

工事数量総括表

工種(レベル2)	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量増減	摘要
種別(レベル3)						
細別(レベル4)						
施工名称						
管きよ工(開削, 管径150mm)		式		1		
管路土工		式		1		
管路掘削		式		1		
バック杓床掘	土砂, 平均施工幅1m以上2m未満	m3		100		
機械掘削工	BH0.45m ³	m3		214		
管路埋戻		式		1		
機械投入埋戻工(流用土路体)	流用土	m3		214		
発生土処理		式		1		
土砂等運搬	標準, 土砂	m3		70		
公共残土仮置場(搬入)	小矢部市 名畑	m3		70		
管布設工		式		1		
リブ付硬質塩化ビニル管		式		1		
リブ付硬質塩化ビニル管設置工	φ150	m		107		
継手類		式		1		
リブゴム可とうマンホール継手	PRPφ150 拡張バンドタイプ	個		4		
管基礎工		式		1		
碎石基礎		式		1		
碎石基礎工	機械施工 再生碎石RC-40	m3		34		
再生碎石	RC-40	m3		41		
管路土留工		式		1		
軽量鋼矢板土留(H=3.0m)		式		1		
軽量鋼矢板建込工	H=3.0m	m		6		
軽量鋼矢板引抜工	H=3.0m	m		6		
土留支保工(軽量金属支保工)設置	切梁材 水圧式パイプ脚→2段3.5m以下	m		6		
土留支保工(軽量金属支保工)撤去	切梁材 水圧式パイプ脚→2段3.5m以下	m		6		
軽量鋼矢板等賃料	矢板, 腹起し, 切梁, 水圧ポンプ	式		1		
軽量鋼矢板土留(H=3.5m)		式		1		
軽量鋼矢板建込工	H=3.5m	m		103		
軽量鋼矢板引抜工	H=3.5m	m		103		
土留支保工(軽量金属支保工)設置	切梁材 水圧式パイプ脚→2段3.5m以下	m		103		
土留支保工(軽量金属支保工)撤去	切梁材 水圧式パイプ脚→2段3.5m以下	m		103		
軽量鋼矢板等賃料	矢板, 腹起し, 切梁, 水圧ポンプ	式		1		
マンホール工		式		1		
組立マンホール工		式		1		
組立1号マンホール		式		1		
組立マンホール設置工	1号, 3m超~4m以下	箇所		2		
マンホール設置工(底部工)	マンホール設置済インバートのみ	箇所		1		

	マンホール設置工（底部工）	マンホール設置後イバートなし	箇所		2	
	1号マンホール現場削孔費	PRP φ 150, 削孔径 φ 262	箇所		1	
	1号マンホール底版	H=130mm, 外径1300mm	個		2	
	1号マンホールく体ブロック	H=1500mm, φ 900mm	個		2	
	1号マンホール直壁	H=1200mm, φ 900mm	個		2	
	1号マンホール斜壁	H=300mm, φ 600~900mm	個		2	
	組立式マンホール調整リング	H=50mm, φ 600mm	個		1	
	組立式マンホール調整リング	H=100mm, φ 600mm	個		1	
	組立式マンホール調整金具	調整高25mmまで	組		1	
	組立式マンホール調整金具	調整高45mmまで	組		1	
	マンホール蓋 歩道用T-14	φ 600, 歩道用T-14, 受枠込	組		2	
	1号マンホール削孔費 PRP φ 150	φ 262 工場削孔	箇所		2	
付帯工			式		1	
	舗装撤去工		式		1	
	舗装版切断		式		1	
	舗装版切断	アスファルト舗装	m		217	
	舗装版破碎		式		1	
	舗装版直接掘削・積込工	アスファルト舗装	m2		358	
	殻運搬処理		式		1	
	殻運搬	舗装版破碎, 機械積込	m3		12	
	As舗装切断排水運搬費	2tダンプトラック	式		1	
	アスファルト廃材処理費	掘削, (株)エコーウッド	m3		12	
	As舗装切断排水	(株)高岡市衛生公社	t		0.2	
	舗装復旧工（歩道）		式		1	
	不陸整正		式		1	
	不陸整正	補足材料無し	m2		227	
	路盤		式		1	
	路盤工（人力施工）	RC-40, t=10cm, 施工幅1.6m未満	m2		92	
	表層		式		1	
	表層（歩道部）	1層当り平均仕上り厚30mm	m2		319	
	舗装復旧工（乗入れ）		式		1	
	不陸整正		式		1	
	不陸整正	補足材料無し	m2		28	
	下層路盤		式		1	
	路盤工（人力施工）	RC-40, t=10cm, 施工幅1.6m未満	m2		11	
	上層路盤		式		1	
	路盤工（人力施工）	M-40, t=10cm, 施工幅1.6m未満	m2		11	
	表層		式		1	
	表層（歩道部）	1層当り平均仕上り厚50mm	m2		39	
仮設工			式		1	
	交通管理工		式		1	
	交通誘導警備員		式		1	
	交通誘導警備員		式		1	

1号マンホール数量計算書

補助路線

路線 番号	マン ホ ール 番 号	マン ホ ール 深 m	マン ホ ール 底 版 深 m	マンホールブロック																		鉄蓋		底 部 工 ケ所	削孔工		副管工		ブロック 据付高(m)			備 考					
				調整 金具		調整リング			片斜壁						直 壁						軀 体 部						H= 11cm	ケ所	管 径 mm	箇 所 数 ヶ所	高 さ m		箇 所 数 ヶ所	1.20 ~ 3.00	3.01 ~ 4.00	4.01 ~ 5.00	
				25	45	H=	H=	H=	H=	H=	H=	H=	H=	H=	H=	H=	H=	H=	H=	H=	H=	T-14	T-25														
				mm	mm	cm	cm	cm	cm	cm	cm	cm	cm	cm	cm	cm	cm	cm	cm	cm	cm	cm	組		組												
M551-2	3.040	3.340		1	1				1													1	1			φ150	仮 1						1		補助		
M551-4	3.050	3.350	1			1			1														1	1			φ150	仮 1						1		補助	
M551-6																									1		φ150	現場 1									
計				1	1	1	1		2														2	2			φ100 φ150		3						2		

舗装数量計算表

補助路線

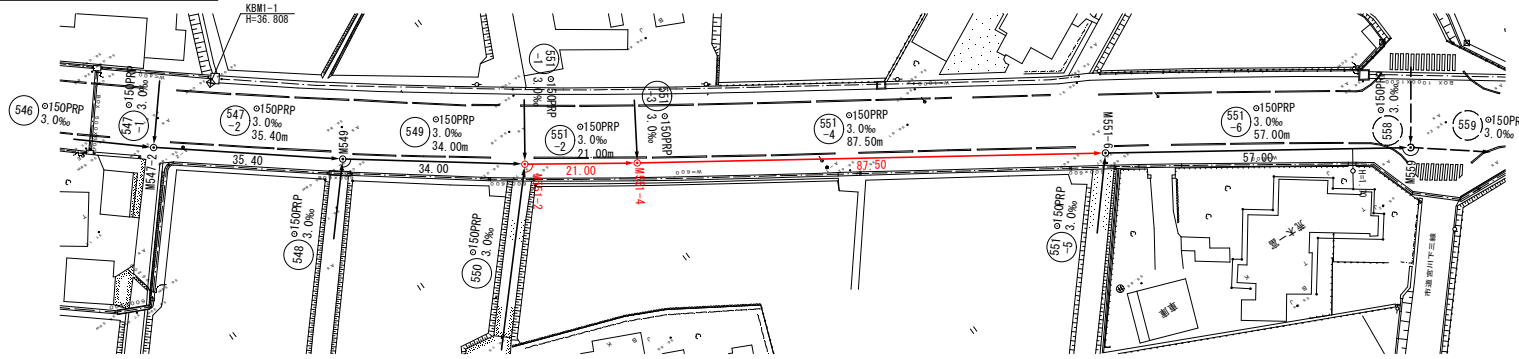
県道乗入

路線番号	マノール番号	舗装種別	舗装復旧																舗装切断工					舗装版破碎工		備考
			本管						取付管						合計		本管取付管			合計	舗装版掘削	舗装残土				
			平均掘削深	開削工法	延長	路盤		表層		箇所数	平均掘削深	路盤		表層		路盤面積	表層面積	本列数	管延長				箇所数	一延ヶ所当り長	管延長	
						幅	面積	幅	面積			延長	面積	延長	面積					ケ所	ケ所	ケ所				
上流側	下流側	上流側	下流側	上流側	下流側	上流側	下流側	上流側	下流側	上流側	下流側	上流側	下流側	上流側	下流側	上流側	下流側	上流側	下流側	上流側	下流側	上流側	下流側	上流側	下流側	
M551-2																										
+1.80	県道乗入	3.14	矢板	1.80	0.95	1.7	3.30	5.9							1.7	5.9	2	3.6					3.6	5.9	0.3	補助
+1.80																										
M551-4	県道歩道部	3.14	矢板	19.20																						補助
+37.00	県道歩道部	3.11	矢板	37.00																						補助
+37.00																										
+41.40	県道乗入	3.06	矢板	4.40	0.95	4.2	3.30	14.5							4.2	14.5	2	8.8					8.8	14.5	0.7	補助
+41.40																										
+81.90	県道歩道部	3.02	矢板	40.50																						補助
+81.90																										
M551-6	県道乗入	2.97	矢板	5.60	0.95	5.3	3.30	18.5							5.3	18.5	2	11.2					11.2	18.5	0.9	補助
計				108.50		11.2		38.9							11.2	38.9							23.6	38.9	1.9	

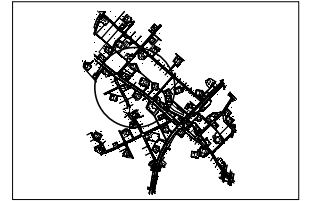
上段：道路左側
下段：道路右側

上段：道路左側
下段：道路右側

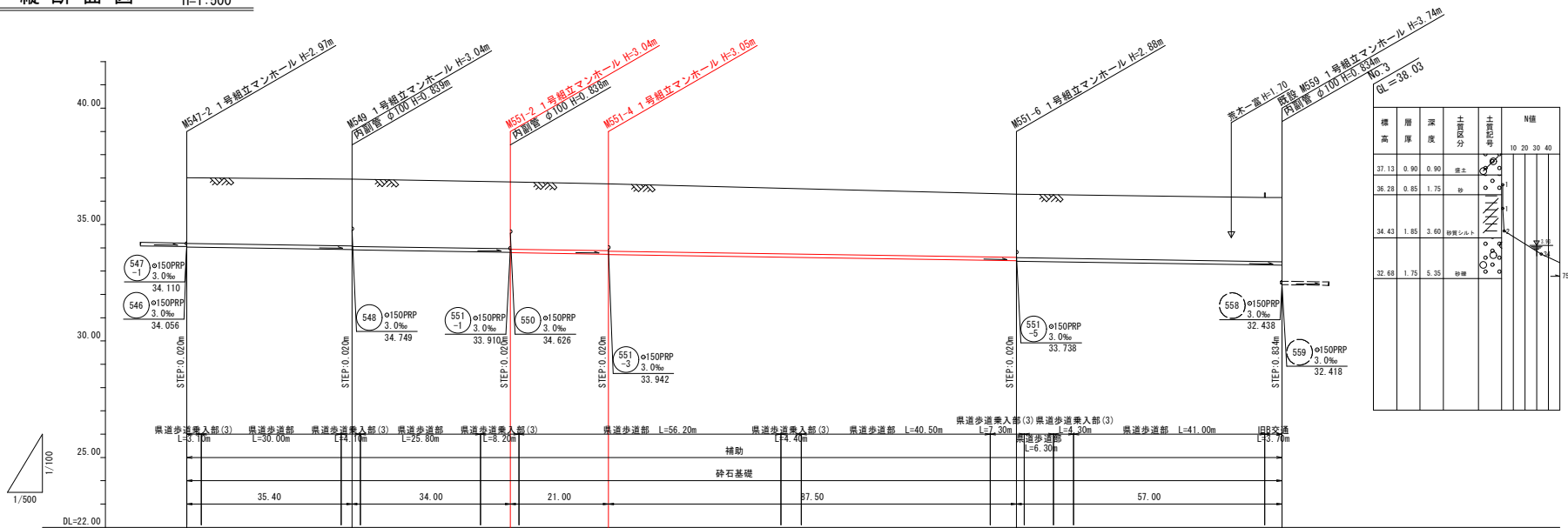
平面図 S=1:500



位置図 S=1:1500



縦断面図 V=1:100
H=1:500



標高	層厚	深度	本設設計	本設設計	N値
37.13	0.90	0.90	硬土		10 20 30 40
36.28	0.85	1.75	砂		
34.43	1.85	3.60	砂質シルト		
32.68	1.75	5.35	砂		

凡例	
●	1号マンホール (●) 既設
○	2号マンホール (○) 既設
⊙	マンホールポンプ (⊙) 既設
⊕	特1号マンホール (⊕) 既設
○	小口径マンホール (雄ビ)
⊗	小口径マンホール (レジコン)
←○	副管付
○	小口径雄ビ樹 (標準)
●	小口径雄ビ樹 (底抜)
○	計画管渠
○	既設管渠
○	将来計画管渠
○	枝線路線番号
○	幹線路線番号

樹深の明記ないものは、H=0.80mとする。

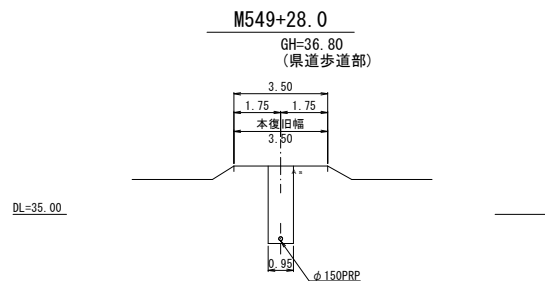
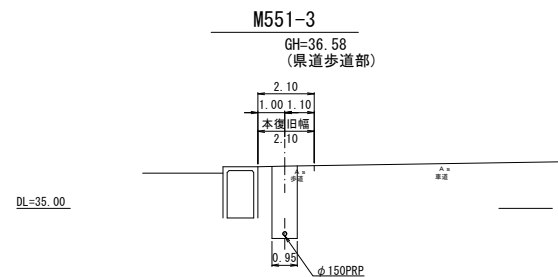
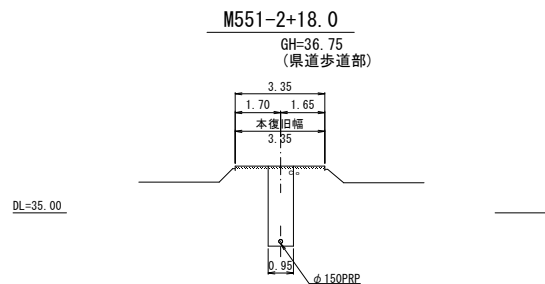
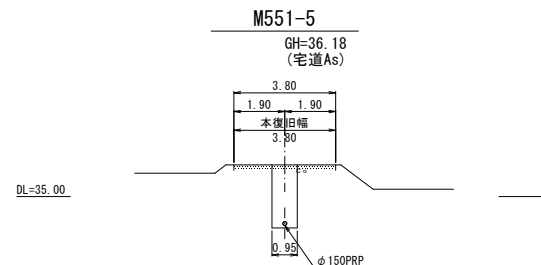
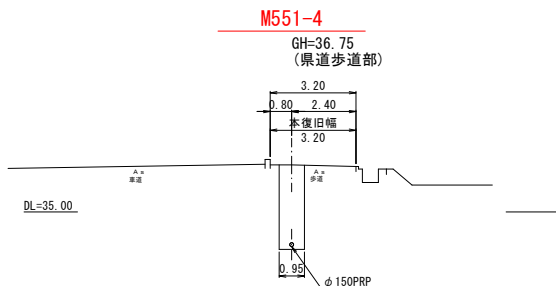
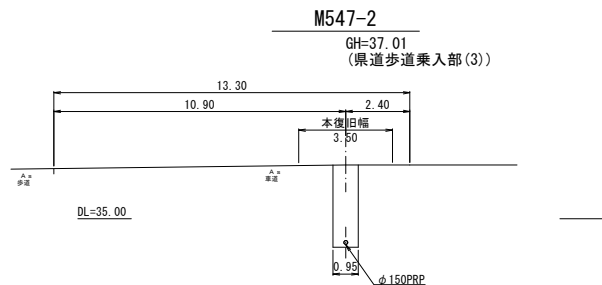
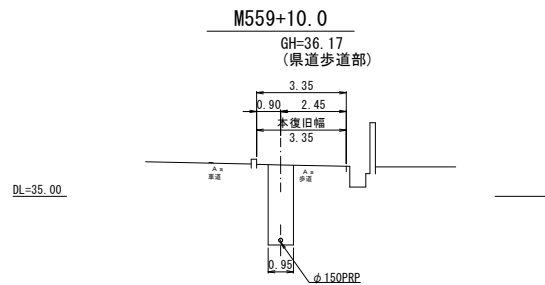
管記号表			
547-2	549	551-2	551-4
551-5			

管番号 管径 管長	掘削深 (m)	土被り (m)	管底高 (m)	地盤高 (m)	追加距離 (m)	区間距離 (m)
547-2 φ150PRP 3.0% 35.40m	3.08	2.82	34.038	37.01	0.00	0.00
549 φ150PRP 3.0% 34.00m	3.12	2.87	33.930	36.95	35.40	35.40
551-2 φ150PRP 3.0% 21.00m	3.12	2.87	33.868	36.83	69.40	34.00
551-4 φ150PRP 3.0% 87.50m	3.13	2.87	33.725	36.75	90.40	21.00
551-5 φ150PRP 3.0% 33.738	2.96	2.70	33.443	36.30	177.90	87.50
558 φ150PRP 3.0% 32.438	2.98	2.72	33.423	36.20	234.90	87.50
559 φ150PRP 3.0% 32.418	3.01	2.76	33.252	36.16	234.90	57.00

工事名	小矢部市特定環境保全公共下水道 下級地区管渠設置工事
図面名	平面図・縦断面図(1)
縮尺	S1:500 V1:100, H1:500
図面番号	
作成年月日	令和3年5月
課長	係長
照会	設計
製	図

小矢部市上下水道課

横断面図(1) S=1:100



工事名	小矢部市特定環境保全公共下水道 下後部地区管布設その2工事		
図面名	横断面図(1)		
縮尺	1:100	図面番号	
作成年月日	令和 3 年 5 月		
課長	係長	照査	設計
			製図
小矢部市上下水道課			

